

点滴・注射は万能の薬ではありません

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



「風邪を引いてしまったが、早く治さないといけないので、一発で治る点滴をして下さい」、「夏バテできついので、よく効く注射をして下さい」。外来にて、こういったお願いをされることがありますが、残念ながら風邪や夏バテを治す点滴・注射はありません。

点滴の主たる目的は水分補給であり、一部ミネラルや糖類の補給も加わります。そのため水分摂取が自分でできるようなら、わざわざ時間とお金をかけ、針を刺されて痛い思いをして点滴を受ける必要はないのです。

風邪の治療の基本は対症療法であり、内服薬で症状を和らげながら、治癒を促します。夏バテで元気がない時には、英気を養い、食欲を増してくれるような効果を持つ漢方薬の方が、一度の点滴よりも効果が期待できます。

もちろん点滴や注射が本当に必要な場合も多々あります。薬の飲み込みが上手くできない場合は注射で代用することもありますし、骨粗しょう症や腎性貧血の治療においては内服よりも注射の方が高い効果が期待できます。また熱中症や嘔吐下痢などで高度の脱水の場合、水分を摂っても吐いてしまう場合には点滴が必要です。さらに肺炎などで炎症反応が強い場合には、抗生物質を内服よりも点滴をした方が、効果が期待できます。但し抗生物質の点滴は1回だけでは効果不十分であり、数日間連日で点滴する必要があります。

点滴や注射が本当に必要な際は、医師からご案内・お勧めするかと思います。不要な点滴や注射は保険診療として認められておらず、患者さんが希望されたからといって安易にできない部分もあります。点滴や注射をありがたく感じるのは、痛い思いをして治療受けたのだから、その分だけ効くのだろうという思い込みもあるのかもしれませんが。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000